

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	松くい虫枯損木伐倒駆除事業	会計名称	一般会計		担当課	農林水産課	
		予算科目	6 款 2 項 2 目	事業番号	2875	所属長名	武智博
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	鶴岡憲雄	
法令根拠等	愛媛県森林組成緊急対策事業実施要綱・補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 持続的な林業・水産業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	適切な森林の保全・管理及び林業を支える担い手を育てる環境の構築						
事業の対象	高度公益機能森林、拡大防止森林及び周辺地			事業の目的	松くい虫の繁殖源を除去し、被害の拡大を防止し、里山の再生を図る。		
事業の内容 (整備内容)	健全森林への被害防止に資する松くい虫防除区域の枯損木の伐倒・棄注			昨年度の課題に対する具体的な改善策	市町村森林整備計画における事業対象森林を見直す等、適正な計画による事業の推進を図った。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	803	0	2,624	0	0	2,593	枯損木伐倒駆除材積	m ³	27	60	0	43
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金	264	0	1,502	0	0	1,492						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	539	0	1,122	0	0	1,101						
職員の人工(にんく)数	0.13	0.21				0.21						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	1,819	1,647				4,240						
主な実施主体	伊予森林組合		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					8,600	1,000	1,000	1,000	1,000	12,600		
成果指標	指標	伐倒材積÷計画材積×100	単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度		
			%		目標	100	100	100	100			
	指標設定の考え方	森林整備計画に定める計画材積と伐倒材積を比較することで効果を測る。	実績		54	86						
			指標で表せない効果									

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		松くい虫被害発生状況調査の結果に基づき事業実施場所等の選定を行う。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点	被害木を処分することで、被害の拡大、拡散の防止が図られ、健全な森林が保全された。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、当該年度の枯れた松を伐採することで被害の拡大を防止する事業であり、景勝地の景観を維持するうえで必要と認められるため継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
評価	所属長の課題認識	年々、松自体が減少している状況であるため、事業の継続や方法について検討する必要がある。									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	